

伝えたい *Fukuoka*



伝えたい *Fukuoka*

公益社団法人 福岡県観光連盟

<http://www.crossroadfukuoka.jp>

2019年2月発行



伝えたい *Fukuoka*

福岡県には、地域の人々に愛され、守り続けられてきた歴史、伝統文化、自然や新たに誕生した体感スポットがたくさん存在しています。
この冊子では、まだまだ伝えきれていない福岡県の魅力を新たな視点とともに紹介しています。
改めて知る福岡、新しく知る福岡を見つけに是非訪れてください。

時代を今に伝える 1

① 今村天主堂 ② 嘉穂劇場

二人の物語を伝える 3

③ 立花城跡 ④ 岩屋城本丸跡
⑤ 柳川・お堀めぐり ⑥ 柳川藩主立花邸 御花

激動の幕末を伝える 5

⑦ 小倉城 ⑧ 水天宮 ⑨ 平尾山荘
⑩ 野村望東尼御堂 ⑪ 犬鳴御別館跡

変わらぬ賑わいを伝える 6

⑫ 柳橋連合市場 ⑬ 旦過市場 ⑭ 土橋市場

四季の彩りを伝える 7

⑮ 呑山観音寺 ⑯ 鷹巣原高原のススキ ⑰ 虎尾桜

庭園美を伝える 8

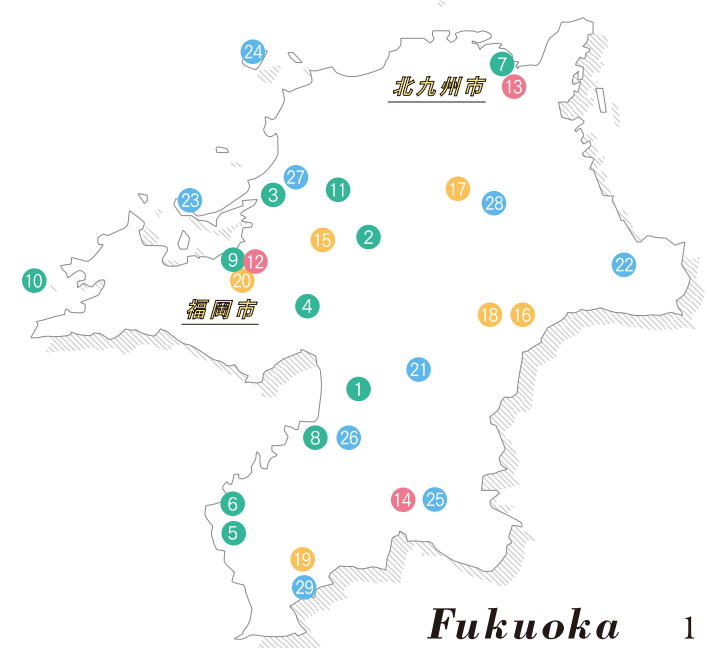
⑱ 旧亀石坊庭園 ⑲ 清水寺本坊庭園
⑳ 友泉亭公園

伝えたい サイクルふくおか 9

㉑ 甘木・秋月コース ㉒ 豊前・大きな椅子コース
㉓ 志賀島・海の中道・雁ノ巣・アイランドシティコース

伝えたい 九州オルレふくおか 10

㉔ 宗像・大島コース ㉕ 八女コース
㉖ 久留米・高良山コース ㉗ 福岡・新宮コース
㉘ 筑豊・香春コース ㉙ みやま・清水山コース



Fukuoka

時代を今に伝える



① 今村天主堂

いまわらでんしゅどう
1638年の島原の乱以降、キリシタン弾圧の嵐が吹き荒れましたが、1867年、浦上の信徒により潜伏信徒が今村地区で発見されました。双塔ロマネスク風様式赤煉瓦造りの天主堂は1908年に本田保神父により計画され、ドイツからの寄付や信徒たちの労働奉仕により1913年に完成。設計施工は当時長崎で多くの教会建築を手掛けた鉄川与助。キリスト受難の14枚の聖絵とステンドグラスはフランス製、柱は高良

山の杉、瓦は城島製、石材は主にうきは市産、外部・内部とも建設当時の状態が保たれています。(国指定重要文化財)

● 大刀洗町地域振興課
TEL/ 0942-77-0173

※教会行事(ミサや典礼など)の時間帯は内部拝観不可
※観光バスでお越しになる場合は、大刀洗町地域振興課へお問い合わせください。



「機敷席」

② 嘉穂劇場

かほげきじょう
明治時代に日本の近代化を支えた筑豊炭田。時代とともに炭鉱(ヤマ)は閉山し、50あまりあった芝居小屋の中で唯一残ったのが嘉穂劇場です。1921年に前身の「中座」が開場以来、約100年にわたって役者、歌手、囃家など様々な演者たちがこの舞台で芸を披露し、多くの人々を楽しませてきました。
「ここに日本の舞台があった」と、役者を惹き付け続ける芝居小屋です。機敷席をはじめ、今でも人力で場面転換に使用される廻り舞台、迫り(セリ)、奈落などの見学が可能です。(国有形登録文化財、近代化産業遺産)



「奈落」 ● 嘉穂劇場(飯塚市) TEL/ 0948-22-0266 団体:要予約

二人の物語を伝える

復活の大名

たちばなむねしげ

「立花宗茂」

豊後大友氏家臣、高橋紹運の長男。15歳で戸次(立花)道雪の娘、闇千代の婿養子となり、立花山城主に。秀吉の九州平定における宗茂の功績により筑後柳川13万石の大名となる。関ヶ原の戦いで西軍に就いたため領地を没収され浪人となったが、その武勇と誠実な人柄が認められ二代将軍徳川秀忠により大名復帰。1620年には旧領柳川に再封。関ヶ原の戦いで敗れて旧領復帰した唯一の大名。

戦う女城主

ぎんちよ

「闇千代」

豊後大友氏重臣、戸次(立花)道雪の娘。筑後国(現在の久留米市)で生まれた。7歳にして立花山城主となる。一級史料で確認できる唯一の女城主。1581年、道雪は、高橋紹運の長男、宗茂を養子に迎え、13歳の闇千代は宗茂と結婚。父道雪は、愛刀「雷切丸」で雷を切ったと伝わる猛将で、闇千代も有事の際には武装し軍を指揮するなど多くの伝説が残る。



⑤ 柳川・お堀めぐり(川下り)

やながわ

宗茂と闇千代も眺めていたであろう柳川城の堀割を、「どんこ舟」で約60分かけゆっくりとすすんでいきます。舟から見える四季折々の草花に彩られた岸辺は柳川ならではの。夏の夜の「灯り舟」や冬の「こたつ舟」も楽しむことができます。

柳川市観光案内所
TEL/ 0944-74-0891

たちばなじょうあと

③ 立花城跡

福岡市東区・新宮町・久山町にまたがる立花山は博多湾の利権獲得のため争奪戦が繰り広げられました。戦国時代の山城としては九州随一の規模です。1586年、20歳の立花城主宗茂は、実父高橋紹運の守る岩屋城を落とした島津軍に包囲されますが、徹底抗戦し島津勢は撤退。立花山からは、玄界灘や博多湾、福岡市街を、快晴時には吉岐・沖ノ島まで眺望できます。

新宮町産業振興課 TEL/ 092-962-0238



いわやじょうほんまるあと

④ 岩屋城本丸跡

立花宗茂の実父高橋紹運は、1586年7月、四王寺山中腹の岩屋城(太宰府市)で九州制覇を目指す薩摩の島津義久の軍と対峙しました。紹運は僅か763名で5万とも言われる島津軍を迎え撃ち、壮絶な最期を遂げました。岩屋城址からは、太宰府市から筑紫野市、大野城市にかけての市街地や西暦664年に築かれた水城跡も良く見え、山頂周辺には西暦665年に築かれた全長8キロにわたって城壁がめぐる大野城跡があります。

太宰府観光協会 TEL/ 092-925-1899

※災害による通行止め区間がありますので太宰府市ホームページでご確認ください。



やながわはんしゅたちばなてい おはな

⑥ 柳川藩主立花邸 御花

城下町柳川を治めた宗茂、闇千代に始まる立花家400年の歴史は、多くの文化財とともに、7千坪の敷地全体が国指定名勝「立花氏庭園」として守り継がれています。座敷からの

※掲載の夜間鑑賞は宿泊客のみ可

柳川藩主立花邸 御花 TEL/ 0944-73-2189

眺望を楽しむ「松濤園」や能舞台としても使える100畳の「大広間」、鹿鳴館様式の流れをくむ「西洋館」、宗茂が着用した甲冑等を展示する「立花家史料館」への入場が可能です。

激動の幕末を伝える

7 小倉城

関ヶ原の戦いの論功行賞により入国した細川忠興が築城した城で、1837年に火災のため天守閣は失われましたが、1959年に市民の熱望によって再建されました。細川氏の後に入国したのは、幕府からも厚く信頼されていた小笠原氏でした。幕末期になると小倉は倒幕を掲げる長州藩を攻める第一戦線となり、小倉藩は勇敢に戦いましたが、次第に劣勢となり退陣。やがて明治維新を迎えました。現在は、桜の名所として人々の憩いの場となっています。



●小倉城(北九州市) TEL/ 093-561-1210 ※平成31年3月末まで工事中により休館予定。

8 水天宮

海の守り神、子授けや安産の神様を祭る久留米水天宮は全国の水天宮の総本宮。安徳天皇の母に使えていた女官が、安徳天皇や滅亡した平家の霊を弔うため水天宮を祀ったのが始まりと言われています。第22代宮司、真木和泉守は、久留米藩政改革を志しましたが失敗し10年間蟄居。脱藩し討幕を企てましたが、寺田屋騒動で失敗し謹慎、朝命により赦免。1863年8月18日の政変により七卿に従って長州に落ちます。禁門の変で長州軍に参加しましたが敗れ、自刃。境内の横を流れる筑後川の向こうに沈む夕日は、絶景スポットです。



●久留米観光コンベンション国際交流協会 TEL/ 0942-31-1717

9 平尾山荘

女流歌人で幕末の勤王家でもあった野村望東尼が隠棲した場所です。当時は深い山中の佇まいで、高杉晋作、平野國臣らの密議の場に提供していたといわれています。現在は、福岡市内の閑静な高級住宅街の一角にあり、近くには動植物園や庭園が美しい松風園などもあり散策スポットにもなっています。



10 野村望東尼御堂

玄界灘に浮かぶ周囲3.8kmの姫島は、高杉晋作ら勤王の志士を陰で支えた幕末の女流歌人、尼僧「野村望東尼」の流刑地として知られています。勤王志士たちを隠匿した罪で、福岡藩に命じられ60歳の身で孫の野村助作と共に自宅に幽閉され、その後姫島の地に約1年間幽閉されました。その時の獄舎を復元し御堂として祭り、側には波乱の生涯を偲ぶ顕彰碑も建てています。



11 犬鳴御別館跡

1865年、福岡藩勤王攘夷派の中心的存在である家老、加藤司書の進言により外国船の攻撃から藩主を匿うために造られた城郭構造の館。勤王攘夷派と佐幕派が対立する中、犬鳴御別館は藩主を幽閉するためのものとの疑いがかけられたこと等により藩論が佐幕に傾き、1865年、加藤司書をはじめ7名が切腹、14名が斬首、野村望東尼の姫島流罪など厳しい処分が断行されました。御別館には福岡藩知事になった黒田長知が藩内視察の際に一度宿泊。明治17年、暴風により倒壊し石垣だけが残りましたが、今では桜の名所でもあります。



●宮若市観光協会 TEL/ 0949-55-9090
※非公開の史跡ではあるが、宮若市観光ガイドの会を利用(有料)することで見学可能。

●(一般社団法人)糸島市観光協会 TEL/ 092-322-2098

●福岡市経済観光文化局文化財活用課 TEL/ 092-711-4666

変わらぬ賑わいを伝える

12 柳橋連合市場

通称「博多の台所」として人々に親しまれ、料亭やホテルなどのプロの料理人から一般家庭の主婦まで新鮮な食材を求めて早朝から大変な賑わいをみせています。食材を購入だけでなく、海鮮料理や自家製の蒲鉾等、食事ができるお店もあり、観光客にも人気のスポットです。



●柳橋連合市場協同組合(福岡市) TEL/ 092-761-5717

13 旦過市場

大正時代ごろから始まったといわれ、現在では北九州の台所として、約1200もの店が軒を連ねます。地元産の新鮮な青果や鮮魚、手作りの惣菜のほか、地元の伝統食「ぬか炊き」などが所狭しと並んでいます。市場内にある大學堂では、オリジナル丼を食べることができます。



●旦過市場事務局(北九州市) TEL/ 093-521-4140

14 土橋市場

神社の中に市場があるこの不思議な空間は、戦後、土橋周辺に散らばっていた露天(闇市)を整理するため、映画館のオーナーが土橋八幡宮に頼んでこの場所を商店街として発展してきました。最近では若者向けのおしゃれな雑貨屋やパン屋もあり、インスタ映えのスポットとなっています。



土橋市場(八女市) <http://dobashistudio.com/>

四季の彩りを伝える



15 呑山観音寺

のみやまかんのんじ

昔から「のみやまん」の通称で知られている霊場「呑山観音寺」。四季を通して景観豊かで身近に自然を感じることができ

ます。特に秋の紅葉は素晴らしく、千本のモミジや、千本のドウダンツツジをはじめ、ヤマザクラやハゼ、コナラ、ケヤキなどが一斉に紅葉し、境内は一面、錦秋に包まれます。

● 呑山観音寺(篠栗町)
TEL/ 092-947-4423

庭園美を伝える



18 旧亀石坊庭園

きゅうかめいしぼうていえん

全国有数の霊山として知られる英彦山の中腹にあり、室町時代に中国から帰国した雪舟が、ここ亀石坊に三年間滞在して築いたとされ、雪

● 添田町まちづくり課 TEL/ 0947-82-1236

舟四大庭園の一つに数えられています。昭和3年に国の名勝に指定されており、英彦山を訪れた際には必ず寄りたいスポットです。



20 友泉亭公園

ゆうせんていこうえん

黒田家6代藩主継高公の別荘として江戸時代中期に建てられたものです。当時の建物は残っていませんが、池泉回遊式の純日本式庭園には礎石や灯籠、樹齢300年以上の金木犀などの古木が残ります。明治初期に建てられたという回廊を持つ大広間は、和の味を思い存分堪能できる数寄屋造りで、菓子付きの抹茶も楽しめます。

● 友泉亭公園(福岡市)
TEL/ 092-711-0415



19 清水寺本坊庭園

きよみずでらほんぼうていえん

天台宗の開祖最澄によって開かれたといわれる清水寺。そのお寺に向かう道中にある清水寺本坊庭園は、室町時代、雪舟によって築かれたと云われており、愛宕山を借景とし、中秋の名月が心字池に映るよう築庭されています。昭和4年に国の名勝に指定されています。

● 清水寺本坊庭園(みやま市)
TEL/ 0944-62-2001

17 虎尾桜

とらおざくら

福智山中腹にひっそりと孤独にたたずんでいる福岡県内最古・最大級のエドヒガン。推定

樹齢600年以上で一度は枯れかけましたが、沢山の人の助けられ、今では毎年満開の花を咲かせ、登山者の目を魅了します。

● 福智町まちづくり総合政策課 TEL/ 0947-22-7766



16 鷹巣原高原のススキ

たかすばるこうげん



6万㎡のスキー場跡っぱいに自生するススキは、非常に壮観で、あたり一面、白銀の穂が揺れる美しい風景を見に多くのお客様が訪れます。ススキの見ごろの時期は長く、10月初めから11月末までの2か月間楽しむことができます。

● 添田町まちづくり課 TEL/ 0947-82-1236



25 やめ 八女コース

「茶のくに」を感じながら、八女丘陵の古代文化に触れ、風光明媚な眺望など八女が誇る自然の豊かさや歴史・文化を楽しむことができるコースです。

☎ 八女市観光振興課 TEL/ 0943-23-1192



24 むなかた・おおしま 宗像・大島コース

フェリーで渡る、自然いっぱいの大島で歴史と景観を満喫する福岡県内で最初のオルレコース。宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所といった世界遺産がある大島は、「神宿る島」宗像・沖ノ島をもっとも近くに見ることができます。

☎ 宗像市商工観光課 TEL/ 0940-36-0037

伝えたい
九州オルレ
とは？
ふくおか



21 あまぎ・あきづき 甘木・秋月コース

甘木鉄道「甘木」駅をスタートして、川のせせらぎ、田園風景、地元の人とふれ合いながら、筑前の小京都秋月の城下町を折り返す約14キロのルートです。春の麦、秋の稲の収穫時は、田んぼが黄金色のじゅうたんに。秋月城址周辺には、500mの桜の

トンネルも。秋月名物・葛のスイーツ、地元古処鶏を使ったカレーパンなど立ち寄りグルメも充実しています。初心者やご家族連れに安心なガイドツアー（要予約）もおすすめです。

☎ あさくら観光協会 TEL/ 0946-24-6758

27 ふくおか・しんぐら 福岡・新宮コース

福岡市内からわずか30分の新規コース。前半の見どころは町の特産品ミカン畑の展望台から望む猫の島として人気の相島や福岡市内の景色。後半は、家具・ファッション・フード店が建ち並ぶ町の中心部を通り抜け松林へ…その先に広がる砂浜は別世界。都会でありながら心にやすらぎを感じるコースは九州でここだけです。

☎ 一般社団法人新宮町おもてなし協会（新宮町観光案内所）
TEL/ 092-981-3470



26 くるめ・こうらさん 久留米・高良山コース

国の重要文化財でもある高良大社をはじめ、全国に4箇所しかない孟宗金明竹林や久留米森林つつじ公園、妙見神社などがあり、四季折々の見どころが満載です。特に標高300mからの筑後平野の絶景は圧巻。全長約8.6kmと九州オルレでは最短でも難易度は中級～上級です。

☎ 久留米市観光・国際課
TEL/ 0942-30-9137



29 きよみずやま みやま・清水山コース

雪舟が作ったと言われる清水寺本坊庭園をはじめ、五百羅漢や清水寺三重塔など歴史・文化が色濃く残り、鮮やかな自然と歴史に包まれたコースは、四季折々の素晴らしい景色を楽しむことができます。

☎ みやま市商工観光課 TEL/ 0944-64-1523



28 ちくほう・かわら 筑豊・香春コース

銅の精錬が行われ、奈良の大仏鑄造にも大きな役割を果たしたといわれている採銅所、同時代の恋の里として万葉集に詠われた鏡山、弘法大師伝説のある高野、そして圧巻は新羅の国の神を祀る香春神社と、歴史とロマンに満ちたコースです。

☎ 香春町役場産業振興課 TEL/ 0947-32-8406
☎ 香春町観光協会 TEL/ 0947-85-8035



23 しかのしま・うみななかみち・がんのす 志賀島・海の中道・雁ノ巣・アイランドシティコース

福岡の市街地を眺めながら雁ノ巣・アイランドシティの海岸線を通り志賀島をぐるりと1周。海と空を間近に眺めながら、島ならではの海鮮グルメや温泉、地元の人たちと触れ合えるショップなど、風景や匂いを体で感じる自転車の旅を楽しむことができます。疲れたら帰りは、フェリーに自転車を乗せることも可能で初心者にも安心なコースです。

<http://cyclotourism-fukuoka.com/>



22 ぶぜん 豊前・大きな椅子コース

前半はあぜ道をのんびりサイクリング。眼前に求菩提山と広い空が広がります。傾斜が緩いので、初心者の方でも安心です。折り返しは、豊前一のインスタ映えスポット「大きなイス」。色々な角度から写真を撮ってインスタ映えに挑戦してみても？ 運動後のお昼ご飯は、その日水揚げされたばかりの新鮮な魚介類をいただける「うみてらす豊前」で。海あり山ありの豊前ならではのオススメのサイクリングコースです。

☎ 豊前市観光協会 TEL/ 0979-53-6660